

第34回 九州本部定期大会開催!

国労九州

復第 88号

福岡市博多駅東
3丁目9番3号
ニココハイワ 1003
092-483-1515
発責 眞子俊久
編責 岩元孝信

・組織拡大に
全力をあげ
よう!

・大胆に国労
加入を訴え
よう!

・各機関で対
策会議を開
催しよう!

・組織拡大の
統一行動を
展開しよ
う!

8月30日10時より博多第三階成ビルにおいて第34回国労九州本部定期大会を開催しました。前段に労働講座を開催し平塚税理士から「ふるさと納税」についての学習会を行い、その後定期大会を開催し、中央本部からは松川書記が参加し情勢報告を行いました。

委員長挨拶

第34回国労九州本部定期大会に参加された構成員ならびに傍聴者・家族のみなさん、御来賓の



みなさん九州本部を代表して4点についてご挨拶します。

①組織強化・拡大について
私たちは組織拡大についてあらゆる取り組みを各地区本部に要請してきました。今年度は4名の拡大を果たしましたが、まだまだ退職現状には及ばない。引き続き創意工夫した行動をお願いしたい。今後は若い人を巻き込んだ学習や小規模の集会、交流会を取り組み、そして各地区におけるレク等で拡大に向けた一層の行動をお願いしたい。

②合理化反対、安全安定輸送の取り組みについて
3月のダイヤ改正では17本の減便を始めとするあらゆる合理化や地方ローカル線廃止を見込んでいたような施策を行ってきた。会社は昨年、輸送人員密度調査結果を路線ごとに公表したが、その内容に依ったダイヤ改正である。今後の施策に対し注視が必要である。

また、異常といえる自然災害が多発し、鉄道も甚大な被害が発生している。昨年から一部不通が続いている日田英彦山線では沿線自治体と意見交換を行ってきた。一日も早く鉄道で復旧を願う声をいただいた。九州本部としても国交省要請等を通して色々な形で法改正や鉄道整備支援法の活用などの訴えをしていきたいと考える。

④19春闘と労働条件改善について
今年も「官製春闘」と揶揄される中で春闘を闘った。政府は3%の賃上げとしたが結果は2.07%と届かず、企業の内部留保は賃金に還元されず406兆円まで膨らみ過去最高となった。18春闘ではJR九州は3年連続の有額回答、貨物会社は18年振り3000円の有額回答があったが、国労の要求とはかけ離れており納得のいくものではない。闘い方、要求額の設定も含めて今後も議論が必要である。

③平和と民主主義を守る闘いについて
安倍政権は、憲法改正に向けた発言を連発させている。さらに、残業時間の上限規制などを盛り込んだ「働き方改革」関連法を通常国会で成立をさせた。九州本部としても来るべく参議院選挙では野党共闘を基軸と幅広い市民と連携して立憲民主主義を取り戻すため奮闘して行かなければならない。

<来賓の皆様>

- | | | |
|----------------------|-------|---|
| ・社会民主党前党首 | 吉田 忠智 | 様 |
| ・日本共産党参議院議員 | 仁比 聡平 | 様 |
| ・九州交運労協事務局長 | 越智 直樹 | 様 |
| ・九州労働金庫理事長 | 山城 正一 | 様 |
| ・国労九州議員団 団長 | 岩中 伸司 | 様 |
| ・全国交運共済生協
九州事業本部長 | 福田 博州 | 様 |
| ・九州本部 家族会 | 石田 忍 | 様 |